

平成29年3月22日
野菜業務部 直接契約課

第28回加工・業務用野菜産地と実需者との交流会（国産野菜の契約取引マッチング・フェア in 東京）の概要について

3月7日（火）、東京国際フォーラム（東京都千代田区）において、標記交流会を開催しました。その概要は、以下のとおりです。

1. 出展者・来場者

今回は、北海道から鹿児島まで31都道府県から111の事業者・団体が出展した。

また、各ブースでは多数の来場者を迎えて、熱心な商談や情報交換が行われるなど、終日に渡り賑わいをみせた。



- ・ 出展者数 111 者（生産者団体 5、生産者 44、流通業者 22、加工業者 11、種苗会社 16、植物工場 7、その他 7）
- ・ 来場者数 1,204 名（内訳：量販・小売店 105、卸・仲卸・商社 430、中食・給食 39、外食・ホテル 115、食品製造・加工業 135、JA・生産者 151、行政・研究機関 72、種苗会社・植物工場 73、マスコミ 26、その他 58）



2. 加工・業務用野菜対策についての説明会

会場内に設けられたセミナー会場では、農林水産省および機構担当者から、6次産業化法の認定を受けたリレー出荷に取り組む生産者に対する特例措置などを含む契約野菜関連事業について説明を行った。リレー出荷の特例措置を含む契約野菜関連事業について、説明会を行ないました。



3. 野菜産地と実需者とのセミナー・意見交換会

また、同会場では、野菜流通カット協議会主催の「野菜産地と実需者によるセミナー」が開催され、約120名の参加がありました。質疑応答では、活発な質問が出され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

・【話題提供】

テーマⅠ：「加工・業務用野菜/キャベツ・白ネギ等の機械化一貫体系について」

講師：ヤンマーアグリ事業本部 顧問 宮永 豊司 氏

テーマⅡ：「加工・業務用野菜/にんじん・たまねぎ等の機械化一貫体系について」

講師：井関農機株式会社 アグリインプル事業部 課長 福村 善宏 氏

テーマⅢ：「野菜収穫機 開発の経緯～乗用型ほうれんそう自動収穫機を中心に～」

講師：松元機工株式会社 設計開発部 取締役部長 西牟田 昭人 氏

テーマⅣ：「加工・業務用野菜/白ねぎの調整機等について」

講師：株式会社マツモト 代表取締役社長 松本 穰 氏

・【意見交換会】

司会進行：青果物流通システム高度化事業

生産流通検討委員会 委員長 稲山 光男 氏



※第28回交流会の開催概要（詳細）については、当機構が発刊している野菜情報5月号に掲載します。 URL：<https://www.alic.go.jp/> 野菜情報 で検索